臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので，下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも，患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞
大腸憩室出血に関する出血因子の検討と治療法に関する臨床研究

＜研究機関・研究責任者名＞
日本大学医学部附属板橋病院消化器肝臓内科　(研究責任者)江崎　充

＜研究期間＞
承認日　～　西暦　2020年　3月　31日

＜研究の目的と意義＞
大腸憩室出血は腸管うを安静にすることで70-90%に自然止血が得られますが、時に大量出血や内視鏡的に止血困難な症例が経験ます。当院では内視鏡的もしくは保存的に止血困難な症例に対して、血管造影下に動脈塞栓術、さらに止血困難な場合には手術療法が検討されます。今回の研究で、出血性大腸憩室症に対する内視鏡的治療・動脈塞栓術・手術に関して治療を比較検討し最適な治療法を研究します。また、出血による重症度や再出血の因子について解析を行い出血の予防や出血のリスクの高い患者を同定する研究を行います。

＜利用する試料・情報の項目＞
①研究対象者基本情報:年齢・性別・血液型・身長・体重・BMI・入院期間・既往歴・内服薬・身体所見・輸血量
②血液生化学検査所見
③画像所見:CT・MRI・内視鏡検査・血管造影検査

＜対象となる患者さん＞
当院消化器肝臓内科で西暦2014年1月から西暦2020年3月までに大腸憩室出血の診断・治療目的で入院された20歳以上の方。

＜研究の方法＞ 2014年1月から2020年3月までに、当院にて大腸憩室出血と診断された方の、年齢・性別・血液型・身長・体重・BMI・入院期間・既往歴・内服薬・身体所見・血液検査所見・輸血量・画像所見・治療法を評価します。診療録からその後の経過を調べ、治療成績・偶発症・再発率・予後を同定し、他項との関連について解析を行い、リスク因子などを評価します。

＜お問い合わせ窓口＞
日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1)
消化器肝臓内科　　氏名:江崎充
電話:03-3972-8111　内線:(医局)2424　(PHS)8749